



第二中だより

No. 582

開校 55 周年

生徒数 490 名

令和 3 年 8 月 30 日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢 1 番 4 号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「2学期スタート」

校長 橋本 真

「防災の日」 9月1日は防災の日です。大正12年9月1日、今から97年前の1923年9月1日のお昼頃、午前11時58分に関東大震災が発生しました。東京・横浜・川崎などの大都会だけでなく、関東地方のほぼ全域に大きな被害をもたらし、東日本大震災と同じ規模の約15万人の方が亡くなりました。関東地方では、古代から約100年に1回の割合で大地震が発生しています。1923年の関東大地震から数えて、今年は98年目ですから大地震がいつ起こってもおかしくない状況にあります。

災害はいつどこで発生するかわかりません。日頃からその突発的に発生する地震や台風などの自然災害に備える必要があります。一人一人が主体的に行動できるように自分はどうすべきか、具体的な行動手順を考えておく必要があります。

「現状の再認識を」 テレビや新聞報道で周知されていますように、新型コロナウイルスの感染症は、今なお続いています。この感染症は、従来より感染力が強い新たな変異株（デルタ株）への置き換わりが進む中、埼玉県の新規感染者数は、8月19日で2000人を超え、和光市においても増加傾向にあり「感染が爆発的に拡大している状態」です。この感染拡大に伴い、緊急事態宣言が9月12日まで延長されました。本校におきましても授業や学校行事等、様々な制限の中で2学期の教育活動が始まります。すでにお知らせしました9月9日から予定していた3年生の修学旅行も、皆さんの健康・安全・安心を確保するために、大局的な見地から判断し、中止としました。今後も感染対策を徹底してまいります。

「2学期スタート」 いよいよ今日から始まります。生徒の皆さんと先生方みんなが元気に顔を合わせることができて大変嬉しく思っています。夏休みは各

自が立てた計画は実行できたでしょうか。夏休み中7月23日～8月8日まで開催された東京オリンピック2020。テレビで見た人もたくさんいると思います。205の国や地域から約11千人以上の方が参加しました。日本も男子体操、ソフトボール、野球、男女柔道等様々な競技で大健闘、金メダル27個・銀メダル14個・銅メダル18個と史上最多のメダルを獲得しました。8月24日からは、「東京パラリンピック2020」が始まりましたがこちらも日本人の活躍を期待したいと思います。出場選手やメダリストたちの発したプラス思考の言葉を紹介します。

「チャンピオンは涙を流さずに常に前だけを見ているという強い気持ちを持っていきたい」（橋本大輝選手）：体操男子個人総合で金。

「本当に幸せ」池江璃花子（競泳）：白血病を乗り越えて。

「これが自分が背負っているものだと思っていた」上野由岐子（ソフトボール）：決勝戦で米国に勝利。

「目標をどんどん現実にしていきたい」卓球女子団体決勝で、日本は中国に0対3で敗れ銀メダル

私たちの口からは前向きなプラス志向の言葉や後ろ向きでマイナス志向の言葉等様々な言葉を発しますが、やはりマイナス志向の言葉ばかりを言っているだけでは、少しも前に進むこともできません。また、自分の目標や夢を達成することができません。そこで、マイナス志向の言葉は言わないように、口から自分は前向きな言葉だけを発して頑張る。こうすることで自分のテンションをあげて目標や夢の実現に向かってひたすら努力する。私もこういう生き方をしていきたいと思いました。皆さんも参考にしてみてください。今日から学校が始まります皆さん一人一人の「頑張り」に期待します。